

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Aブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第3試合

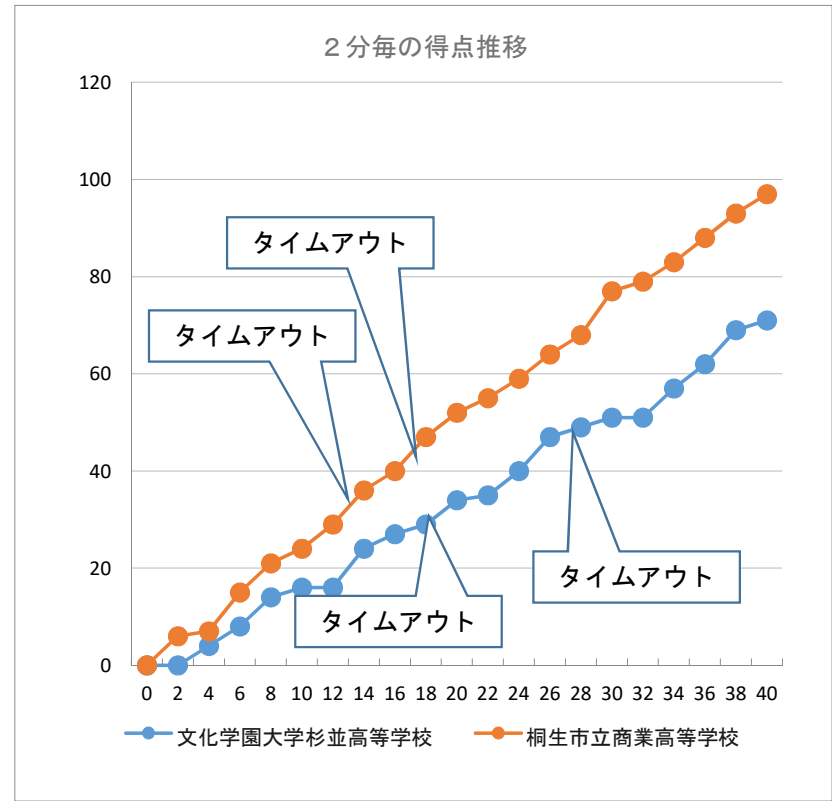
チームA	71	16 1st 24	97	チームB
文化学園大学杉並高等学校 (東京都)		18 2nd 28		桐生市立商業高等学校 (群馬県)
		17 3rd 25		
		20 4th 20		
		OT		

Aチーム：文化学園大学杉並高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	打田 咲愛	18	2	6	5	16	2	2	3	3	5	8
2		5	羽賀 理緒	4	0	0	2	2	0	0	0	1	2	3
3		6	森田 香鈴	11	0	0	3	14	5	6	3	8	5	13
4		7	金城 みちる	11	1	8	2	13	4	6	5	5	5	10
5		8	露木 美織	11	1	3	3	15	2	2	3	1	2	3
6		9	佐藤 寧々	4	0	0	2	7	0	0	2	0	0	0
7		10	飯島 麻衣	5	0	1	2	4	1	1	5	1	3	4
8		11	奥 伊織	7	0	0	2	5	3	4	1	2	4	6
9		12	鍛冶 杏奈	0	0	0	0	2	0	0	2	1	2	3
10		13	竹馬 紗羽											
11		14	澤井 実優	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
12		15	竹内 萌乃佳											
13		16	大家 未来											
14		17	佐々木 花梨											
15		18	古矢 美海											
HC/TEAM			小田 美鈴											
合計				71	4	18	21	82	17	21	24	22	28	50

Bチーム：桐生市立商業高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		3	帆足 咲	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
2		5	高木 美咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3		13	滝沢 彩理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		16	内田 天空	0	0	0	0	1	0	0	3	4	1	5
5		19	橋本 彩夏	1	0	0	0	4	1	2	0	0	3	3
6		22	堀越 梨々夏	26	1	1	9	20	5	8	0	1	10	11
7		23	内山 優美	18	2	9	4	13	4	5	3	2	2	4
8		25	米山 紫乃	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
9		27	北村 凜花	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
10		33	矢部 愛莉	5	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1
11		38	星野 璃音	14	2	6	3	4	2	2	1	3	2	5
12		39	町田 乃綾	12	2	2	3	6	0	1	1	2	4	6
13		57	船戸 姫夢	10	0	2	3	10	4	6	4	6	4	10
14		86	高橋 美遥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
15		88	久保田 夢唯	9	1	1	0	3	6	8	1	0	1	1
HC/TEAM			西條 佑治											
合計				97	9	23	24	63	22	32	14	20	30	50



戦評 記者：森田 智美 (群馬県高体連)

1Q：両チームマンツーマンディフェンスで試合開始。アウトサイトでシュートを狙う文大杉並に対し、桐生商業はリバウンドからの速攻で得点。インサイドの高さで有利な文大杉並は、ハイロープレイを狙うが、ダブルチームに阻まれ流れが掴めない。積極的にドライブと3Pで攻める桐生商業は着実にリードを広げ16-24で終了。

2Q：1対1で攻める桐生商業は、攻めきれないときも#22が個人技で得点。何とか追いつきたい文大杉並は、タイムアウト後オフェンスの展開を早め、3Pを積極的に狙い#8がドライブで攻めるが、連続して得点が取れない。桐生商業の堅い守りに無理なシュートが目立つ。リードは広がり、18点差で後半へ。

3Q：文大杉並はディフェンスを3-2ゾーンに変える。桐生商業のオフェンスのリズムを崩し外したシュートを確実にリバウンドし、速攻につなげる。文大杉並は桐生商業のファウルを誘い、フリースローで得点。流れが変わるかに見えたが、桐生商業#22はドライブから個人技で得点。リードは変わらない。ここで文大杉並が、得点後にオールコートでの1-2-1-1プレスディフェンスに変える。しかし、落ち着いたボール運びでプレスダウンする桐生商業は、アウトナンバーで得点し、逆にシュートのリズムを掴みリードは広がる。

4Q：#6、#7のドライブで攻める文大杉並だが、流れは変わらず、1対1とシュート力では上回る桐生商業が、選手層の厚さを見せ、安定したゲーム展開でリードを広げ97-71で2回戦に駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
飯田 はるか (神奈川県)	田中 由紀子 (栃木県)	田村 夏実 (千葉県)